

厚生労働省和歌山労働局発表
平成23年4月28日
午後2時

厚生労働省和歌山労働局
職業安定部職業安定課
課長 山下 博己
労働市場情報官 石川 正義
TEL 073-488-1160
FAX 073-475-0115

一般職業紹介状況(平成23年3月分)

有効求人倍率(季節調整値)は前月より0.03ポイント上昇の0.72倍で、4か月連続で前月を上回った。

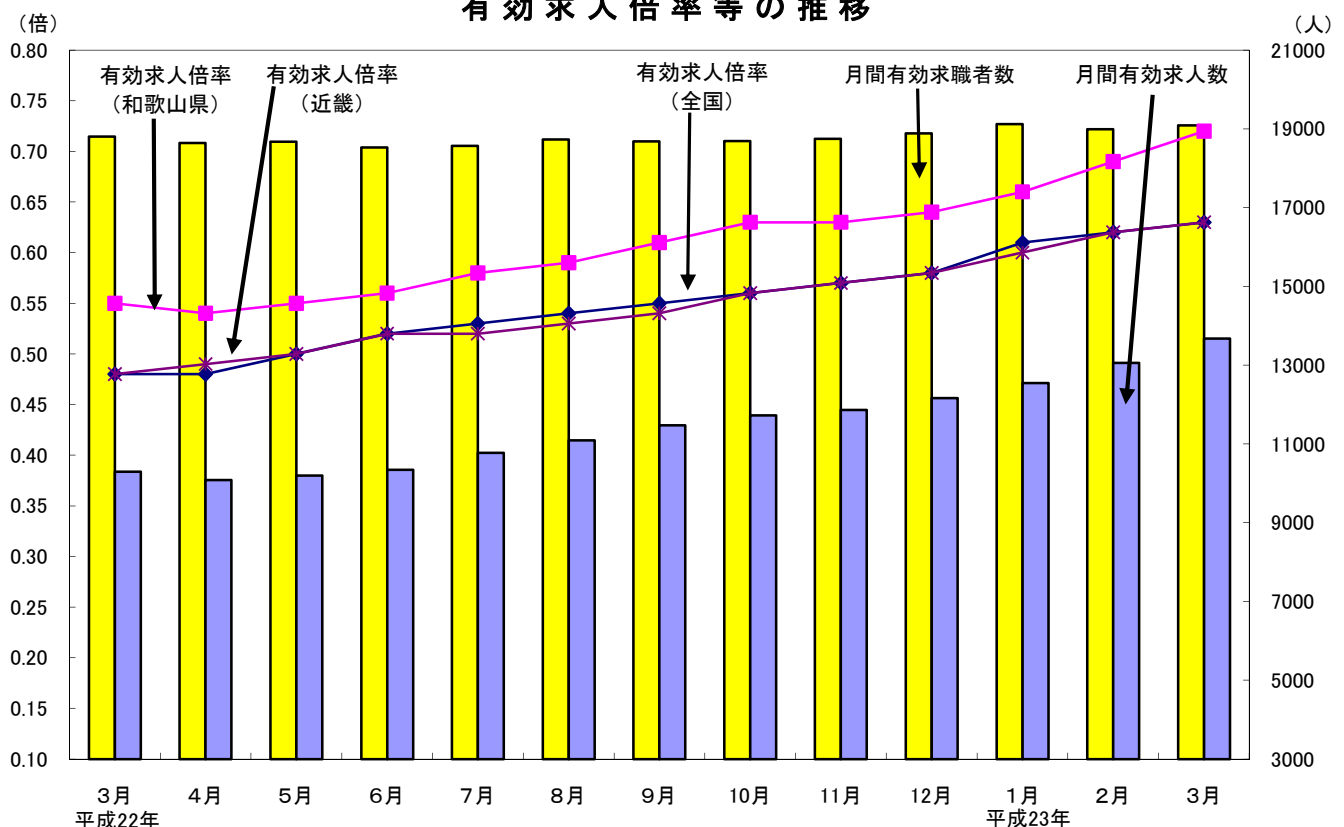
全国の有効求人倍率(季節調整値)は0.63倍で、前月より0.01ポイント上昇。

近畿の有効求人倍率(季節調整値)は0.63倍で、前月より0.01ポイント上昇。

新規求人倍率(季節調整値)は1.17倍で、前月より0.08ポイント上昇。

- ◎ 新規求人数(原数値)は対前年同月比31.2%増。
- ◎ 新規求職者数(原数値)は対前年同月比4.5%増。

有効求人倍率等の推移



(注) 有効求人倍率、月間有効求人数及び月間有効求職者数はすべて季節調整値。
季節調整値の平成22年12月以前の数値は新季節指数により改訂済。
有効求人倍率(折れ線グラフ)は左目盛。月間有効求人数及び月間有効求職者数(棒グラフ)は右目盛。

1 求人倍率の動き

新規求人倍率(季節調整値)は前月より0.08ポイント上昇の1.17倍で、2か月ぶりに前月を上回り、平成22年度平均は1.02倍で、前年度より0.11ポイント上昇した。

平成22年度平均の有効求人倍率は0.62倍で、前年度より0.09ポイント上昇した。

正社員有効求人倍率(原数値)は前年同月より0.09ポイント上昇の0.37倍で、9か月連続で前年同月を上回った。

2 求人の動き

- (1) 新規求人数(原数値)は5,836人で、前年同月比31.2%増(13か月連続増)となった。
有効求人数(原数値)は14,289人で、前年同月比32.7%増(11か月連続増)となった。
- (2) 主な産業別に新規求人の増減(前年同月差)をみると、
「医療,福祉」(273人増)、「製造業」(214人増)、「宿泊業,飲食サービス業」(159人増)、
「教育,学習支援業」(153人増)、「サービス業」(127人増)、「建設業」(113人増)などで増加し、一方、「農,林,漁業」(24人減)などは減少した。
- (3) 一般、パート別で新規求人の状況をみると、一般求人数は3,456人で前年同月比30.8%増、パート求人数は2,380人で前年同月比31.9%増となった。

3 求職者の動き

- (1) 新規求職者数(原数値)は5,553人で、前年同月比4.5%増(5か月連続増)となった。
有効求職者数(原数値)は19,542人で、前年同月比1.6%増(3か月連続増)となった。
- (2) 新規求職者(パートを含む常用)を態様別にみると、在職者は1,275人で前年同月比13.6%増(29か月連続増)、離職者は3,092人で同1.1%減(2か月連続減)となり、離職者のうち事業主都合離職は767人で同4.2%減(10か月連続減)、自己都合離職は2,078人で同0.4%増(2か月ぶり増)、また、無業者は1,158人で同12.2%増(22か月連続増)となった。
- (3) 雇用保険の受給者実人員は4,204人で、前年同月比6.8%減(13か月連続減)となった。

4 就職者数の動き

安定所の紹介による就職者数は2,202人で、前年同月比11.8%増(22か月連続増)となった。

5 まとめ

正社員有効求人倍率が低水準であることや有効求職者数が高水準で推移していることなど厳しい状況にあるが、求人倍率や求人数の動向などに明るい要素が継続してみられることから、雇用情勢は依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きが続いている。今後においては、3月11日に発生した東日本大震災の影響が懸念される。